

縄文時代って どんな時代？

たかくなりはじめ、こおっていた海もとけて、それまで陸だったところが海になり、今の日本列島に近い形ができました。

やがて春・夏・秋・冬の季節ができ、食べものになる木の実や動物がとれるゆたかな森が日本列島に広がっていきました。森が広がるにつれて、それまで食べものを求めて移動しながら生活していた人々が、一か所でながくくらすようになりました。食べものがとれやすい場所に家をつくり、一年を通して山や海でとれる食べものを季節ごとに計画的にとって食べていたようです。

縄文時代の人々は、まわりの自然や季節の恵みを上手に利用して助け合いながら、12,000年以上もくらしていました。くらしやすいように工夫するなかで土器をつかいはじめ、さらに食べられるものを増やしていったことでしょう。彼らのくらしは、わたしたちが想像している以上に創造的でゆたかだったのかもしれない。



府中市歴史民俗資料館

所在地 府中市土生町882-2
 開館時間 10時～17時
 入館料 無料
 駐車場 約100台
 休館日 祝日を除く月曜日 年末年始
 ☎・Fax 0847-43-4646

ホンモノの
縄文土器の展示は
こちら



府中市上下歴史文化資料館

所在地 府中市上下町上下1006
 開館時間 10時～18時
 入館料 無料
 駐車場 3台
 ほか観光駐車場（徒歩300m）
 休館日 祝日を除く月曜日 年末年始
 ☎・Fax 0847-62-3999

府中市にも縄文人 みつけた！

【発行】令和4年3月31日【編集】府中市教育委員会

縄文時代のはじめごろは、今よりずっとずっと寒くて海もこおっているところがありました。それが、今から10,000年前ごろからあ



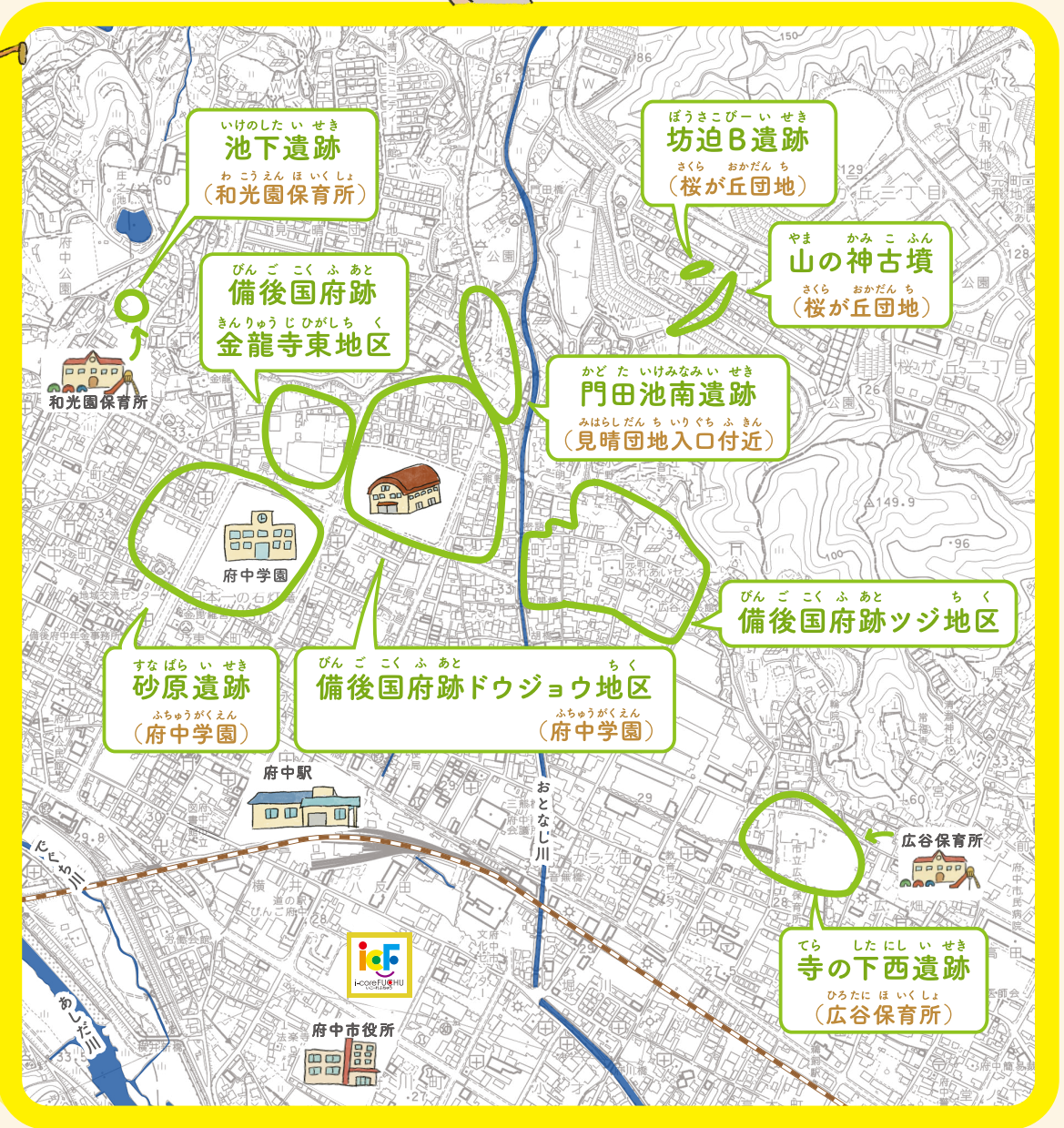
府中市にも 縄文人は、おった!



縄文人男性Aさん

ぼくらがくらしていた
地面の上に、
きみらがすんでるんだよ

遺跡ってむかしの人
生活のあとのこと!



なんぜんねん おおむかし

何千年も大昔から
こんにちは!

府中市街地からでた 縄文土器たち

…のかけら



なわめ
縄目のもよう
線のもよう



なわめ
縄目のもよう



あな



せん
線のもよう



とって…
ではない



つめ みたいな
もよう



あな

あな



くるくる~



ギザギザ~

かがみに
うつつ
「J」



どき
土器の表面を
かんさつ!
いうんぞもようが
あるよ!



たくさんの
あな



あかく
めってる!?



よこすじみっちり~



がたがたー



がたがたー



いしの
矢じり~



おさけを
いれた?
やかん?きゆうす?
いいえ、
注口土器の
そぞぎくちです!



しましま~



ねんどで
モリっと



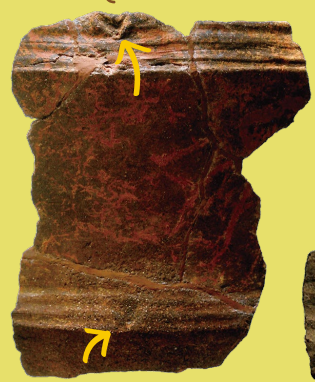
縄文人男性Aさん

ぼくらがつかっていた土器。
バラバラになっちゃってるけど、
ここからみつかったよ。

- いけのしたいせき わこうえん ほいくしょ
池下遺跡 (和光園保育所)
- すなばらいせき ふちゅうがくえん
砂原遺跡 (府中学園)
- びんごこくふあと
備後国府跡



グリ
グリ
グリ
グリ



オウギジョウ
アッコモン!
(扇状圧痕文)



だいたい
ななめ40°



ねんどを
はりつけて凹



うえからみたら
ドーナツのあな!



くるりーん

かいがらをおしつけて
おうぎのかたちに凹ましちゃう!

ドウジョウ地区出土

ツジ地区出土

縄文時代の 大発明! 土器



春と秋は
土器づくりシーズン



府中市にいらしていた
縄文人が食べていた、かも!?

縄文土器は縄文時代につかわれた、土をこねて焼いた器「土器」のことです。食べものを煮るための「なべ」としてつくられたのがはじまりでした。土器は縄文人の命を支えた**大発明品**です。それまでは生で食べるか焼くかしかできなかったのですが、煮ることができるようになり、人々のくらしは大きく変わりました。生ではしぶくて食べられなかったドングリや木の実などの植物が食べられるようになり、肉や魚、貝もやわらかく煮ることができるようになりました。

「煮る」といいこと!

- 生では**毒**だった植物が、食べられるようになる
- 肉以外に植物も食べられるようになり、栄養バランスが良くなる
- 栄養が汁といっしょにとれる
- やわらかくなる
- 消化がよくなる
- 栄養分を吸収しやすくなる

↓
食生活がゆたかになる



なべを デコっちゃう!?

縄文土器の表面はさまざまなもようでかざられていました。麻などの植物のひもを、押し付けたり転がして付けた縄目のもようや、竹や木などの植物で描いた線のもよう、粘土を貼り付けたもようなどがあります。

もようは、土器がつくられた時期や場所によって変わるので、当時のようすを知ることがかかります。



縄文土器は、食べものを煮る道具の「なべ」としてよくつかわれました。道具の表面をさまざまなもようでかざる(デコる)のは、どうしてでしょうか? 実は、まだわかっていないのです。縄文時代の人々はどんな想いをこめてなべをデコったのでしょうか。

なんと粘土をはりつけたもようの上から縄目のもよう

せん線のもよう



なわめ縄目のもよう

せん線のもよう

縄文土器のもようはこんなかんじ
いけのたいせき わこうえんほいくしょ
池下遺跡(和光園保育所)からみつかった土器

縄文人Aさんと
縄文人Bさんの
ある日の会話(想像)

なべ、いいのができたでしょ!
おいしい食べものがたべられるように
おまじないもしてるよ

ありがとう
いいのができたねー
あれ?なんかもようかえた?

あ、わかっちゃった?
このあいだみたもようが
ステキだったから、
ちょこっとまねしちゃったの!

いいねえー
なんかおいしくなりそう!

